

北海道グローバル戦略プロジェクトチーム会議全体概要

1. 日 時：令和6年3月27日(水) 13:10~16:25
2. 場 所：本庁舎地下1階 危機管理センターA
3. 各課からの主な情報提供

国際課（総合政策部）

- ・令和6年度の機構改正で、経済部国際経済課と産業人材課の一部、総合政策部国際課を統合し、新たにグローバル戦略推進監が設置される。今後、グローバル戦略推進監のもと、各課とより一層連携を密にし、本道への投資促進や需要の取り込みや、外国人材確保に一体的に取り組んでいく
- ・中国による日本産水産品の輸入停止など、国際情勢の大きな変化に直面する中、特定の品目や、国・地域に偏らないリスク分散に対応する取組を推進していく。

観光振興課（経済部）

- ・令和6年度は、観光消費額の向上のため「量から質へ」単価を高める戦略など、五つの基本方針のもと取組を進める。
- ・欧米豪（重点市場）、東南アジア（成長市場）、東アジア（成熟市場）と市場を大きく三つに分けて、それぞれの市場ごとに戦略を持って取り組む。
- ・欧米豪では、A Tコンテンツ等を活用した付加価値の高い旅行商品造成の促進、東南アジアでは、小グループや家族旅行を好む富裕層へのアプローチ強化、東アジアでは、地域の特性に応じた観光コンテンツをPRする。

食産業振興課（経済部）

- ・今回策定した北海道食の輸出拡大戦略では、これまでの4つの戦略に加え、「輸出品目の拡大・高付加価値化の推進」を追加。
- ・また、主要品目の展開方向に、牛肉、牛乳・乳製品、ブリ、カレイ類、菓子類、機能性食品を追加した。

食品政策課（農政部）

- ・食の輸出拡大に向け、品目ごとのプロモーション活動や市場開拓に向けた調査等、関係団体等と連携したアジア諸国等における販路開拓や、輸出先国の基準に対応した施設整備等を支援する。

水産経営課（水産林務部）

- ・海外需要を積極的に取り込んでいくため、品目の拡大や相手先国の多様化、付加価値の高い製品開発など、道産水産物の更なる輸出拡大を図り、漁業経営の安定に繋げる。

林業木材課（水産林務部）

- ・道産木材製品の販路拡大に向け、引き続き木材関係団体と連携し、道産の建築材や家具などを「HOKKAIDO WOOD」としてブランド化し、本道の豊かな森林のイメージを活かしたプロモーション活動を展開する。

アイヌ政策課（環境生活部）

- ・アイヌ民族文化財団では、国際文化交流事業として、アイヌの姉弟と海外の先住民族との文化交流体験を支援するなど、海外と北海道をつなぐ取組を行っている。

広報広聴課（総合政策部）

- ・公式 SNS などを活用して道の国際関連事業の情報発信を支援している。主に日本人が対象であるが、必要に応じて外国人にも情報が共有されるよう工夫したい。

高校教育課（教育庁）

- ・ハワイ、アルバータ州、ニュージーランドと交換留学事業を行っているほか、Study Abroad Program という、道内大学と連携して留学生を道立高校へ派遣し、高校生との交流を行う事業を実施している。